算数科　第３学年　「円と球」

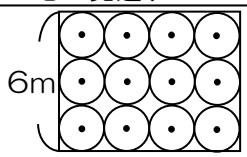
育成を目指す資質・能力　【課題発見・解決力】

《本時における学ぶ意欲が高まった児童の具体的な姿》
○「直径」や「半径」などの円を構成する要素を用いて，外接する四角形の辺の長さの求め方に気付き，自分の考え方を広げている。

《本時における統合的な考え方》【集合】
○「直径」や「半径」を用いて問題解決をする場面において，様々な問題解決方法を見出し，共通点を考えさせる。

新たな見方・考え方への広がり

算数を学ぶよさの実感

授業のながれ（全 10 時間　第４時）	児童の様子
○つかむ・見通す  教室にシートをしくと，たてに３人，よこに４人入ります。教室のたての長さは６ｍです。 よこの長さは何ｍですか。 既習の円の定義について確認した後，一人ひとりのソーシャルディスタンスの間隔が分からないと解決できない場面を設定することで，直径や半径を用いて課題解決することに気付かせ，問題解決の意欲を喚起した。	実生活とのつながり ○実際に日常生活で取り組んでいる場面やこれから自分たちが新しい生活様式のためにできることを課題として設定することで，課題解決の必要性や問題解決に向けて意欲を高める児童の姿が見られた。 思考のつながり ○直径や半径を用いないと課題解決することができない場面を設定することで，既習を使って意欲的に自力解決していた。 １人分の円の直径が分かったらよいと思うよ。
○学習課題 円の考えを使って，よこの長さの求め方を考えよう。	
○考える・学び合う 【自分の考えを説明する児童】 【共通点を発表する児童】	半径の考えを使ってもできそう。 ○自分の考えをノートや図に記入し，直径や半径の長さを基にして教室の横の長さを説明していた。 １人分の円の直径を求めると，それを基にして教室の横の長さを求めることができるね。
○学び合う　【集合】 問題の解決方法を図や式に表し，それらを対応させながら説明させた。半径を基に長さを求める方法と，直径を基に長さを求める方法の二つの考え方の共通点に気付かせ，まとめにつなげた。	１人分の円の半径から，教室の横の長さを求めることもできるんだね。
○まとめ 教室の長さをもとめるときには，円の半径や直径を基にするともとめることができる。	
○適用問題・振り返り 適用問題は，本時と異なる場面を設定し，画用紙の縦の長さを求める問題にし，学んだことが理解に結びついているか確かめることができるようにした。授業後の振り返りには，円の考えが生活に役立つ場面や今後の学習で調べたいことについて書かせた。	思考のつながり どちらの考え方もいくつ分かを求めることが大切だね。 ソーシャルディスタンスをすると，体育館には何人入るのか調べてみたい。